経営比較分析表(令和2年度決算)

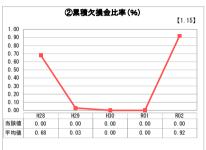
岩手県 一関市

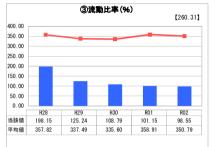
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報	
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)		
=	44. 74	87. 72	4, 400		

人口 (人)	面積(km²)	人口密度(人/km²)
113, 604	1, 256. 42	90. 42
現在給水人口(人)	給水区域面積(km²)	給水人口密度(人/km²)
98, 812	710. 21	139. 13

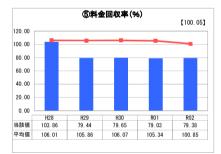
1. 経営の健全性・効率性

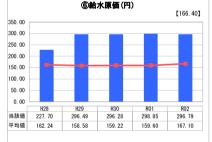








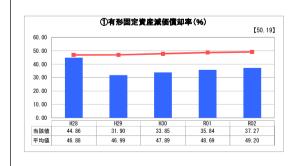


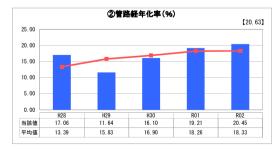


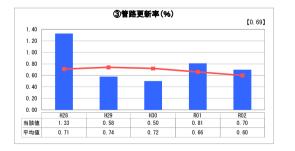




2. 老朽化の状況







グラフ凡例

■ 当該団体値(当該値)

- 類似団体平均値(平均値)

【】 令和2年度全国平均

分析欄

経営の健全性・効率性について

①経営収支比率

100%以上で推移し、水道料金等の収益で経費を賄えていま す。平成29年度の上水道、簡易水道の事業統合以降、類似団 依平均と比較して低い数値で推移していましたが、業務域 の集約や民間委託の推進などの経費削減に伴い令和2年度は 類似団体平均を上回るまでに向上しています。 (ツ累計欠組命比率

奋動 比率

②加期比率 100%を下回る数値となり、類似団体を大きく下回っていま すが、現状では支払能力に著しい不足は生じていません。令 和4年から料金改定することに加え更なる経費削減で向上を

④企業債残高対給水収益比率

類似団体と比較して高い数値となっていますが、借入額の 抑制により減少傾向にあります。今後給水収益の減少や建設 改良費の増加が予想されることから、適切な施設整備計画を 踏まえた借入額の検討を行っていきます。 何料金向回な

上簡統合時から低い数値が続いており、財源を一般会計補助金(基準内)に頼っている状況です。今後の料金改定により改善は見込まれますが、料金改定後も100%を下回ると予想

うれるため、更なる経営改善が必要です。 ②鈴々原価

類似団体を大きく上回る数値となっています。管路延長や 施設数が多く、経常費用が給水原価を押し上げています。 ⑦施設使用塞

ジルは以内・ 近年は50%程度の数値で推移しており、今後施設の統廃合 や施設更新時にダウンサイジングの検討を行い改善に努めま

9。 8 有 収 率

類似団体と比較して低い数値となっていることから、今後 適切な更新工事を行い改善に努めていきます。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率

現在は類似団体より低い数値を維持していますが、高度経 済成長期に拡張整備を行った施設が、順次法定耐用年数を超 協力を表現した施設の指導を大きなである。 対象が異様していくことなどから、今後、数値が上昇してい く見込みですので、適切なメンテナンスを行い機能保持に努 めます。

②管路経年化率

類似団体より高い数値となっており、今後も数値が上昇していく見込みですので、適切かつ効率的な更新工事が必要で
*

. 管路更新率

類似団体を上回る数値となっていますが、当市の管路延長から大幅な向上は困難な状況にあります。施設整備計画に基づいて老朽度、重要度を考慮し、耐震化工事と併せ、計画的に管路の更新を進めていきます。

全体総括

平成29年の水道事業と簡易水道事業の統合以降、減価償却 費と企業債残高が増大し、収益的収支においては、一般会計 補助金(基準内)により純利益を確保している状況です。

資本的収支においては、管路延長や施設数が多いことから 多額の更新費用が見込まれるものの、その財源を企業債に依 存しており、累積した企業債残高の元利債還が経営を圧迫し ています。

このであり。 適切な料金設定を検討しつつ、施設の統廃合、ダウンサイ ジングを踏まえた建設改良事業など、一層の経営健全化に努 める必要があります。